

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
17109001	非平面アミドオリゴマーの自己組織化構造とヘリックス表面の機能化	大和田 智彦 (東京大学・大学院薬学系研究科・教授)	B/F
<p>本研究は非天然型構造を有するアミノ酸オリゴマーの構造から、天然型アミノ酸の自己組織化様式の原理を探るという深遠な目標が評価され採択されている。発表学術論文の数が少ないことから、研究の進捗が減速しているように評価せざるを得ない。今後の成果次第ではペプチド科学や創薬化学への波及が期待できるが、そのためには、橋頭位置換 7-アザビシクロヘプタン構造を有するアミノ酸のホモオリゴマーの合成に向けたブレークスルーが不可欠であり、合成面に研究総力を集中することにより、新たな展開を期待したい。</p> <p>特記事項：上記の学術的な評価とは別に、本研究課題において研究代表者による研究費の不正使用が行われていたことが明らかになった。本研究課題において、研究代表者自らによる研究費の不正使用が行われたことは、誠に遺憾である。不正に使用された研究費の返還とともに、不正使用を行った研究代表者に対して科学研究費補助金を4年間交付しない措置が行われるが、研究代表者は猛省し、今後、このようなことが絶対に生じないよう、姿勢を正していただきたい。</p>			